

令和6年11月6日

保護者の皆様

豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁

令和6年度 運動会での走競技(リレー等)に関する対応について

運動会まであと少しとなりました。

本年度の運動会における走競技においては、下記の通り取り組んでおり、運動会当日の結果発表においても、下記の方針を踏まえて行うことを事前にお伝えいたします。

記

1 運動会の走競技における方針

他チーム（他学級）との勝負ではなく、自チームの記録の伸び（成長）に焦点を当てて取り組む。（結果発表時も）

2 理由

大前提として、「勝負」を否定するものではありません。

現実の社会では、勝ち負けが明らかになる場面がたくさんあります。勝ちたいと言う気持ちから努力が生まれ自分を成長させてくれることもありますし、負けたときの悔しさが自分を成長させてくれることもあります。

一方で、勝ってもおごらず、負けた時にそれを受け入れ成長の糧にするためには、勝ち負けの経験だけでなく、心の持ち方が大切になります。すなわち、他人との勝負の前に、自分自身の努力や成長等に目を向けられるようにすることが、他との勝負でどのような結果が出ても、それに対して真正面から向き合える素地になると考えています。

そこで、以下の理由により、表記の取り組みを行います。

- ① 他との勝負や比較の前に、自分自身の努力や成長に目を向けること、自己肯定感を高めることに力を入れたい。それが、今後の他との勝負に生きてくる（勝負の結果を受け入れ前向きな力に変える素地となる）。
- ② 中学校以降では、日頃の生活や部活、受験などで勝ち負けに焦点が当てられる機会が多いと考えられる。そのため、小学校段階では、自分自身（自チーム）の実力を自覚した上で、自分自身（自チーム）を成長させようとする経験をさせてあげることが大切であると考えられる。
- ③ 学級編成は、足の速さを考慮しておらず、やる前から○組が勝つ、○組が負けると、予想ができてしまう場合が多々あり、児童の意欲や努力を引き出すことが難しい場合がある。
- ④ 運動が苦手な児童、リレー等に意欲的でない（意欲的になれない）児童への配慮のひとつとしたい。
（ある調査によると、運動会は、好きな学校行事第2位。でも、嫌いな学校行事第2位でもある。）

※ 実際には、他チーム（他クラス）と共に走ることにより、自チームの記録を伸ばすことができているし、勝ち負けは可視化されていると言う状況です。

※ 参考資料（好きな学校行事ランキング、嫌いな学校行事ランキング）

[好きな学校行事]	1位	修学旅行	2位	運動会	3位	文化祭
[嫌いな学校行事]	1位	マラソン大会	2位	運動会	3位	授業参観

(オールアバウト調査より)